

湯浅千春先生 : New Engl J Med (2010) 362:906-916.

**“高脂血症に新薬登場か！？KB2115 の実力とは”**

**Use of the Thyroid Hormone Analogue Eprotirome in Statin-Treated Dyslipidemia**

【背景】Hypothyroidism の患者さんにチラージンを開始するとコレステロールがみるみる下がり、これは、高コレステロール患者にも使えないかなーと思った先生も多いと思います。今回は、スウェーデンで開発が進められている、T<sub>3</sub>に臭素を2個つけたアナログ製剤 Eprotirome (KB2115) のスタチンとの併用効果が検討されました。このアナログ、肝の甲状腺ホルモン受容体により選択的に作用し、心、骨、性腺への作用を極力抑えて脂質を改善するのではないかと期待されているようです。

【方法】スタチン服用中の脂質異常患者 184 名を、12 週間の併用薬として、placebo(n=47), Eprotirome 25  $\gamma$  (n=47), 50  $\gamma$  (n=46), 100  $\gamma$  (n=44) に割り付けて脂質改善効果が検討されました。

【結果】Eprotirome は、用量依存的に、LDL-C(-22~-32%)、Apo-B、TG を低下させました。甲状腺機能では、TSH、T<sub>3</sub> レベルに変化は認めないものの、T<sub>4</sub>、FT<sub>4</sub> 値の低下を認めました。心、骨系の明らかな有害事象は認めず、甲状腺機能亢進、低下の症状も認めませんでした。

【結論】まだまだ、あまり世に知られていない甲状腺ホルモンアナログ製剤。いきなり、NEJM に登場し、今後、いよいよ、製剤競争となりそうで、目が離せません。ただ、KB2115 が KaBu2115 に見えてしまうのは、僕だけでしょうか。。？(文責 阿比留)